

嘔吐

「吐く」とひと言でいっても、「吐出」と「嘔吐」があり、考えられる病気も違ってきます。

● 食べてすぐに吐く「吐出」

食物が胃まで到達せず、未消化で吐き出される場合、上部消化器官(口内、のど、食道)に病気やトラブルがあると考えられます。

● しばらくしてから吐く「嘔吐」

一般的に、いったん胃の中に入って消化された食べ物(又は胃液)を吐く場合は、胃や十二指腸、その他の臓器の病気や誤食などを疑います。



「吐く」原因って何だろう？

1. 病気で吐く

*胃や腸管の閉塞、消化器官の炎症、便秘、口の中の病気、腎不全、肝疾患、糖尿病、食物アレルギー、ホルモンの関係する病気、寄生虫、感染症など

2. 病気以外で吐く

食べすぎ

*急いで(勢いよく)食べたり、一度に食べた量が多かった場合、胃の収縮運動の能力を超えて、吐いてしまうことがあります。
→一回に与える量を少なくしてみましよう。

ストレス

*環境の変化や季節の変わり目に犬は敏感で、ストレスを感じます。強いストレスで自律神経のバランスを崩し、胃液の分泌が増加し、嘔吐が起こります。
→嘔吐を繰り返すと、脱水症状を引き起こすことがあるので注意が必要です。

空腹

*朝方に胃液のみを吐く場合は、空腹時間が長いために、胃酸が出すぎていることが関係しています。
→夕食を与える時間を遅めにしたり、夕食の分量を少し多めにしてみましよう。

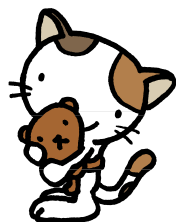
車酔い

*車に慣れていないと、車の振動で平衡感覚が乱れ、胃酸がたくさん出て、吐き気を催します。
→ドライブ直前の食事は避け、長距離なら途中で休憩しましよう。
車酔いがひどい場合は、薬も処方できますのでご相談ください。

誤食

*拾い食い、腐ったもの、異物などを誤食して、それを吐き出そうとしているケースも少なくありません。たとえ小さなものでも、のどや気管に詰まったり、とがったものだと粘膜を傷つけることがあります。薬や農薬などにも注意しましよう。
→誤食防止のために、危険なものが落ちていないか、家の中を確認しましよう。
散歩中にも注意が必要です。

※万一、誤食してしまった場合は、すぐに病院に連絡し指示を仰ぎましよう。



※猫は毛玉を吐くことがあります。

毛づくろいを頻繁にする猫は飲み込む毛の量が多くなるため、毛玉を吐くことがあります。
→まめにブラッシングするなどして、なるべく毛をおなかのためにしないようにしてあげましよう。

☆吐いているときは、胃腸を休ませるために、12~24時間の絶食・絶水をしましよう。

絶食・絶水後は、一気に与えず、少しずつ(量は少なめで、回数を多く)あげましよう。